

【下川淵地区】

■地区の特徴と課題

- 当地区は、整然とした街並みの住宅地と工業地、平坦な農地、農村集落で構成され、本市の南の玄関口である北関東自動車道・前橋南IC周辺を中心に発展を続けています。
- 利根川の橋上からの景色や田園風景越しに見る赤城山の眺望に優れ、点在する環濠屋敷や祭祀に由来する歴史的資源が、集落固有の景観を形成しています。
- 地区内には、北関東自動車道のほかにも地区を縦断・横断する幅員の広い道路が複数あり、地域の一体感の醸成や地域づくり活動への影響が懸念されています。
- ICに隣接する大型ショッピングモールは、本市の新名所として週末には市内外から大勢の来客がありますが、それに伴う交通渋滞の発生や住環境への影響が課題となっています。

■データ

【地区指定等】

- 地区計画
 - ①下川地区
 - ②亀里地区
 - ③前橋南部地区
 - ④力丸工業団地西地区

【主な景観資源】



亀里町阿内宿の石幢
(市指定重要文化財)



極楽寺の大けやき



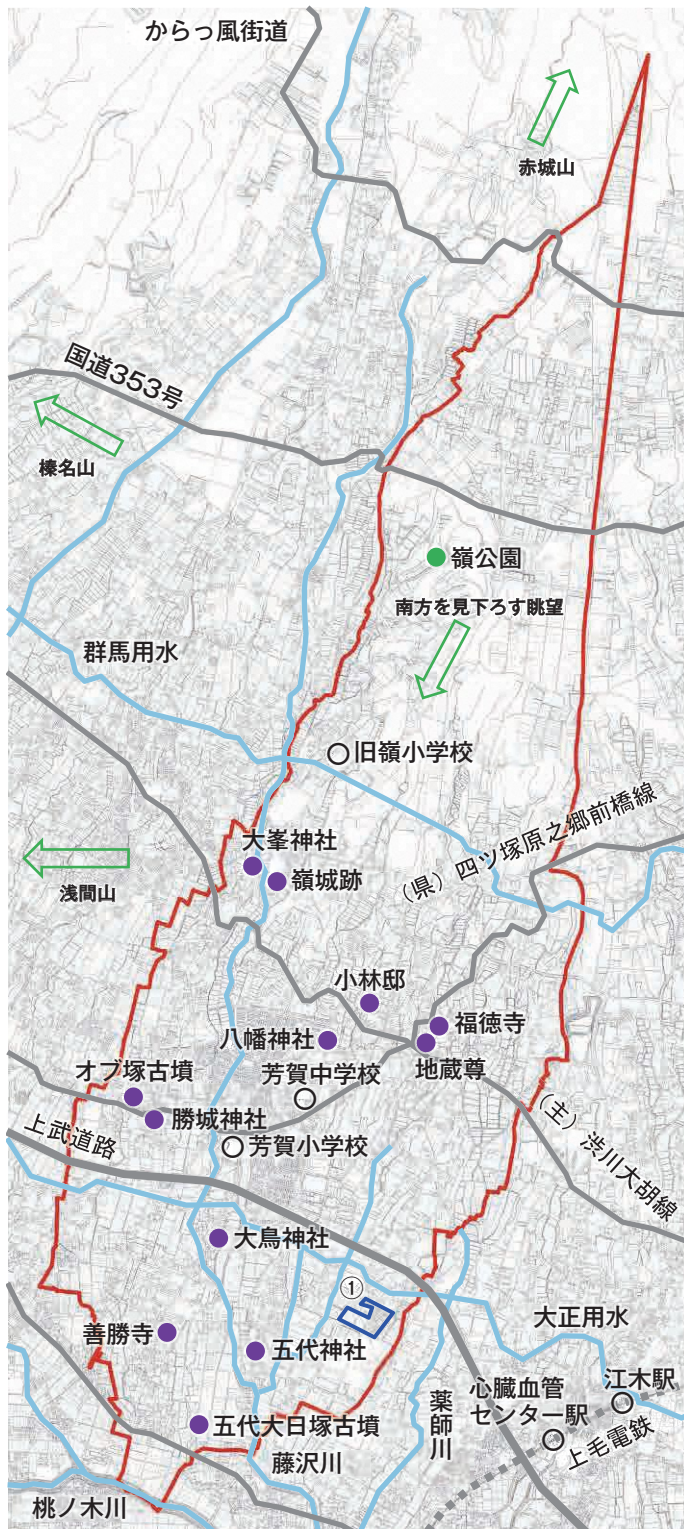
■景観形成の方向性

- 特徴的な地区景観の保全
 - ・当地区の特徴である赤城山の眺望と集落景観を保全する景観形成施策が求められます。
- 拠点周辺の道路景観
 - ・ショッピングモールの周辺道路は、屋外広告物の適正配置には特に留意する必要があります。

【芳賀地区】

地区の特徴と課題

- 赤城山のふもとに位置し、古くからの住宅地と農地、森林が大半を占め、地区の南部には昭和40～50年代にかけて開発された住宅地（団地）と工業地が広がっています。
- なだらかな傾斜から見下ろす夜景の美しさに優れ、住宅団地に見られる雑壇状の区画割や、祭祀に由来する歴史的資源、点在する古墳、養蚕農家などが固有の地区景観を形成しています。
- 地区の南北には、国道17号上武道路と国道353号が横断しており、各方面への交通アクセスは良いものの、地域の一体感の醸成や地域づくり活動への影響が懸念されています。



- 公営墓地である嶺公園を中心に、北部には豊かな森林と農地が残されていますが、近年、太陽光発電設備の設置が増加しており、自然環境や景観面への影響が課題となっています。

データ

【地区指定等】

- 地区計画
 - ①五代南部団地

【主な景観資源】



鉄造阿彌陀如来坐像
(善勝寺・国指定重要文化財)



オブ塚古墳
(市指定史跡)



養蚕農家・小林邸
(前橋市景観資産)



端気町から眺望する赤城山
(前橋市景観資産)

景観形成の方向性

- 特徴的な地区景観の保全
 - ・当地区の特徴である南方を見下ろす眺望と地区景観を保全する景観形成施策が求められます。
- 太陽光発電設備の適正設置
 - ・地区北部で増加している太陽光発電設備と自然環境・景観との調和を考える必要があります。

【桂萱地区】

■地区の特徴と課題

- 市域の中央部に位置し、古くからの住宅地と農地が大半を占め、本庁管内に隣接する区域と東部の一部区域には整然とした街並みの住宅地が広がっています。
- 地区の一部は、剣術・新陰流の祖として知られる「上泉伊勢守」にまつわる歴史的風致が認められる範囲となっているほか、祭祀に由来する歴史的資源が各地域固有の景観を形成しています。
- 赤城南麓の斜面から続く寺沢川や薬師川、平坦な水田地帯を構成する桃ノ木川や赤城白川など、東西・南北方向の河川が生み出す斜面地の緑と田園風景が特徴的です。
- 地区内を国道17号上武道路や主要県道、上毛電鉄が通り、交通機能が充実していますが、道路・公益施設間のアクセス向上と地区景観保全とのバランスが求められています。



■景観形成の方向性

- 歴史的風致の維持向上
 - ・当地区の歴史的風致を維持するとともに、来訪者へのおもてなしの向上が求められます。
- 都市機能の向上と景観保全のバランス
 - ・駅周辺の機能向上とあわせて、無秩序な市街化の抑制と景観保全を考える必要があります。

■データ

【地区指定等】

- 歴史的風致が認められる範囲
 - ・上泉町の一部
- 地区計画
 - ①富田地区

【主な景観資源】



上泉郷蔵
(県指定史跡)



上泉伊勢守銅像



桃ノ木川
サイクリングロード

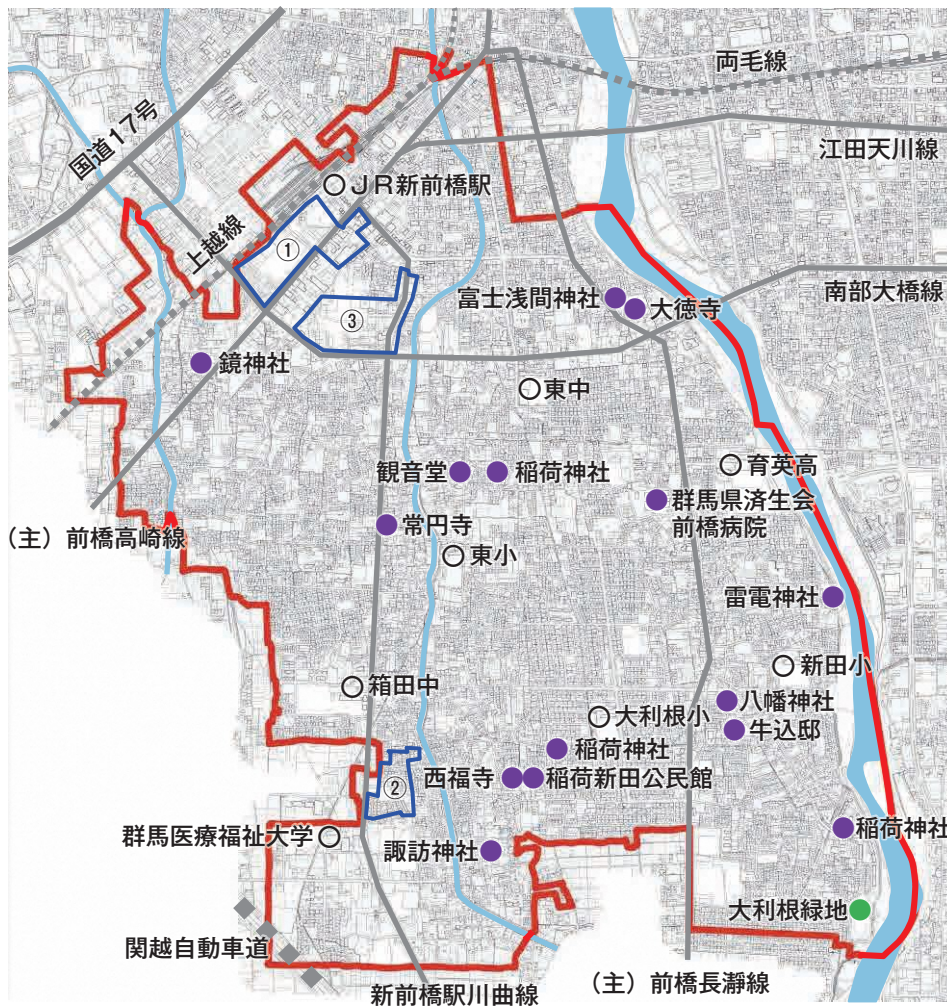


老舗三俣せんべい本店
(前橋市景観資産)

【東地区】

■地区の特徴と課題

- 高崎市に隣接する当地区は、利根川の右岸沿いに広がり、昭和40年代に造成された県内初の大規模住宅団地に象徴されるようにその大半が住宅地で構成されています。
- 地区北部には、東京・高崎方面からの玄関口であるJR新前橋駅があり、駅周辺には公共施設や商業施設、オフィス、地域中核病院などが集積し、本市の地域核に位置付けられています。
- 利根川や滝川、染谷川沿いの緑地や、道路沿いの街路樹が地域に彩りをもたらす一方、住宅地内の農地は減少傾向にあり、身近な緑地や赤城山の眺望の保全が課題となっています。
- 複数の鉄道路線が乗り入れるJR新前橋駅は、オフィスや学校などの集積もあって多くの乗降客が見られますが、駅周辺では屋外広告物が乱立し、駅前景観のあり方が懸念されています。



■データ

【地区指定等】

- 地区計画
 - ①新前橋駅南地区
 - ②川曲地区
 - ③新前橋駅前第二・第三地区

【主な景観資源】



大徳寺総門
(市指定重要文化財)



新前橋駅前の街並み



農家表門等・牛込邸
(前橋市景観資産)

■景観形成の方向性

- JR新前橋駅周辺の景観のあり方
 - ・本市の西の玄関口であり、都市機能が集積した地区にふさわしい景観形成が求められます。
- 地区景観の保全
 - ・生活の中で潤いや安らぎが感じられる地区景観を維持保全する必要があります。

【元総社地区】

■地区の特徴と課題

- 中心市街地に隣接する当地区は、東京・高崎方面からの大動脈である国道17号や関越自動車道前橋ICに象徴されるように、本市における交通の要衝として発展を続けています。
- 昭和30年代から始まった土地区画整理により都市的に整備された区域が多く、整然とした街並みの住宅地のほか、商業地や工業地などの多様な用途が集積しているのが特徴です。
- 古墳や国府跡、千年以上の歴史を有する古社などの存在から「東国文化の中心地」と称されており、地区の一部はそれらにまつわる歴史的風致が認められる範囲となっています。
- 都市的な整備が進む一方で、当地区ならではの豊かな歴史が感じられにくくなってきており、緑地も減少傾向にあることから、自然的景観や歴史的風致の維持向上が課題となっています。



■データ

【地区指定等】

- 風致地区
 - ・厩城
- 地区計画
 - ①前橋問屋団地
- 歴史的風致が認められる範囲
 - ・元総社町の一部
 - ・元総社町一～三丁目の一部

【主な景観資源】



総社神社
(県指定重要文化財)



王山古墳
(市指定史跡)



蒼海宿
(前橋市景観資産)

■景観形成の方向性

- 前橋IC周辺～国道17号の沿道景観のあり方
 - ・東京・高崎方面からの入り口として、前橋らしさを感じられる沿道景観が求められます。
- 歴史的風致と自然的景観の保全
 - ・都市整備を進める際には、地区固有の歴史性や緑地の保全に十分配慮する必要があります。



群馬大橋付近から望む赤城山
(前橋市景観資産)